

慢性疾患児の自立度確認シート

【記載日】 年 月 日 【患者ID】:

【児童の情報】年齢: 歳 月 日 社会的属性: 保育所・幼稚園・小学校・中学校 学年 年生 性別: 男・女

疾病名:

【発達遅延の状況】無し・有(診断名:)・不明【アセスメントした家族】母・父・祖母・祖父・その他()

アセスメント方法 *項目ごとにアセスメントし、できている場合はチェックを入れる。チェックが入らなかった場合は、療養支援モデルを参照して介入する。

発達の特徴と課題	A. 医療従事者とのコミュニケーション		B. 疾病の理解		C. 自己管理(セルフケア)の促進		D. 自己決定能力の育成		E. 児童の社会参加と関連機関との連携			
	児童		保護者		児童		保護者		児童			
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		
乳児期・幼児前期 ・基本的生活習慣の獲得をする ・自分の感情や意思を表現する ・道徳性や社会性の基盤が育まれる	<input type="checkbox"/> A-1医療従事者と挨拶ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B-p1疾病の病態、治療、おおよその見通しを理解している <input type="checkbox"/> B-p2児童が慢性疾病にかかったことに対する思いを医療従事者に話している <input type="checkbox"/> B-p3成長の段階に合わせて児童自身が疾病について理解することの必要性を理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C-c1年齢や病状に見合った生活に必要な活動を自分ですることができる	<input type="checkbox"/> C-p1児童に必要な療養上の世話を組み込みながら、基本的な生活習慣が獲得できるように支援している <input type="checkbox"/> C-p2成長の段階に合わせて、児童が自立して療養生活を送ることの必要性を理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-c1症状に応じた対応や検査・処置・治療を嫌だと思っても受けることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-p1医療従事者の説明を児童にわかるように説明して検査や処置を促している <input type="checkbox"/> D-p2児童が検査や処置を頑強して受けたことを褒めている <input type="checkbox"/> D-p3成長の段階に合わせて、児童が療養生活の中で自己決定できることの必要性を理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> E-c1家族以外の人と関わりをもつことができる <input type="checkbox"/> E-p1地域における相談支援事業、医療費助成制度、福祉サービス、患者会・家族会等を必要に応じて活用している <input type="checkbox"/> E-p2幼稚園・保育所・認定こども園に関する情報を得て、必要に応じて入園準備をしている <input type="checkbox"/> E-p3集団生活上、必要なこと(療養行動や医療的ケア、注意事項)を関係者に伝えている
	<input type="checkbox"/> A-2医療従事者が患者に語る言葉や話を、関心をもって注意して聞くことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B-c1自分の体、体調、疾病に関心が持てる <input type="checkbox"/> B-c2生活の中で自分に必要な療養行動や医療的ケアを知っている <input type="checkbox"/> B-p4疾病や治療、症状について、児童にわかりやすく話している <input type="checkbox"/> B-p5生活の中での注意事項について、児童にわかりやすく話している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C-c2体の不調を訴えることができる <input type="checkbox"/> C-c3病状と年齢に見合った基本的な生活習慣が獲得できている	<input type="checkbox"/> C-p3児童の自己管理能力を適切に把握している <input type="checkbox"/> C-p4児童のやりたい気持ちを支援している <input type="checkbox"/> C-p5療養行動や医療的ケアについて児童自身ができるように促す支援をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-c2いくつかの選択肢の中から方法を選ぶことができる <input type="checkbox"/> D-p5児童の選択を尊重している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-p4児童にいくつかの選択肢を与え、選ばせている <input type="checkbox"/> D-p5児童の選択を尊重している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> E-c2集団生活を楽しく過ごすことができる <input type="checkbox"/> E-c3集団生活の場で自分の体の不調を訴えることができる <input type="checkbox"/> E-p4小学校に関する情報を得て、入学準備をしている
学童前期 ・集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成 ・自然や美しいものに感動する心などの育成	<input type="checkbox"/> A-3感じたこと、考えたこと、したいこと、してほしいことなどを医療従事者に話すことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B-c3自分の体のどの部分に疾病があるか知っている <input type="checkbox"/> B-p6児童の理解に合わせて、児童に疾病やその症状の説明をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C-c4生活上、体調面での注意することを覚えて、必要な時には援助を受けながら療養行動がとることができる	<input type="checkbox"/> C-p6児童ができる療養行動を増やしている <input type="checkbox"/> C-p7児童ができる療養行動が増えていることを認め、児童に伝えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-c3自分の考えや意思を伝えることができる <input type="checkbox"/> D-c4いくつかの選択肢を自分で考えることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-p6児童に意思や考えを表明することを促している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> E-c4学校生活の場で療養上、必要な時には援助を求めることができる <input type="checkbox"/> E-c5遠足等の体験活動に参加できる <input type="checkbox"/> E-p5学校の生活の場で必要な療養行動を適切に行うことができるように学校関係者と調整している <input type="checkbox"/> E-p6児童の療養生活の自立への支援について学校関係者に理解を求めている <input type="checkbox"/> E-p7遠足等の体験活動に参加するための調整をしている
	<input type="checkbox"/> A-4疾病について医療従事者と話し合うことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B-c5人の体のつくりと働き、疾病の状態について知っている <input type="checkbox"/> B-c6疾病について理解し、必要な療養行動について知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C-c5病状と年齢に見合った規則正しい生活習慣が獲得できている <input type="checkbox"/> C-c6必要な療養行動をとることができる	<input type="checkbox"/> C-p8児童の病状と年齢に見合った規則正しい生活習慣ができるように支援している <input type="checkbox"/> C-p9児童ができる療養行動を見守り支援している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-p7児童の意思決定プロセスを支えている <input type="checkbox"/> D-p8生活の中での児童の自己決定とその遵守や責任について児童と話す機会を持っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-p8生活の中での児童の自己決定を促している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> E-c6学校生活の場で体調管理や必要な療養行動は自分で判断して行うことができる <input type="checkbox"/> E-c7集団宿泊的行事等に参加できる <input type="checkbox"/> E-p8集団宿泊的行事等に参加するための調整をしている <input type="checkbox"/> E-p9中学校に関する情報を得て入学準備をしている
思春期 ・人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探究する経験を運して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己のあり方を思考 ・社会の一員として他者と協力し、自律した生活を営む力の育成	<input type="checkbox"/> A-5学校生活、療養生活、将来への夢などについて医療従事者と話し合うことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B-c7疾病について理解した上で、適切な療養生活について知っている <input type="checkbox"/> B-c8疾病の進行の防止に必要な生活様式を知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C-c7適切な療養生活を継続できる <input type="checkbox"/> C-c8体調や症状を継続的に把握できる	<input type="checkbox"/> C-p10児童が体調や症状を自ら把握し、適切な療養生活を継続的に実行しているか見守り、必要に応じて助言している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D-c6適切な療養生活について自分の意思で決めることができる <input type="checkbox"/> D-p9療養生活について児童の自己決定を見守り、必要に応じて助言している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> E-c8慢性疾病にかかっている児童同士の交流の機会に必要に応じて児童に参加することを促している <input type="checkbox"/> E-c9自分の疾病について親しい友人に話すことができる <input type="checkbox"/> E-p10慢性疾病にかかっている児童同士の交流の機会に必要に応じて児童に参加することを促している <input type="checkbox"/> E-p11高等学校に関する情報を得て、入学準備をしている <input type="checkbox"/> E-p12児童と一緒に将来のことについて考えている

*子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題(文科省:子どもの徳育の充実に向けた在り方について(報告)より)

著作:「平成25~27年度厚生労働省科学研究補助金成育疾患克服等次世代成育基盤研究事業慢性疾患に罹患している児の社会生活支援ならびに療育生活支援に関する実態調査およびそれらの施策の充実に関する研究」(研究分担者 及川郁子) および「日本小児看護学会小児看護政策委員会」による